

講座名	講座等概要	講座回数・時間	定員(集合型)	オンライン
自助講座	地震を始めとする自然災害に対する備えを学ぶ 【ポイント】 ①風水害対策(マイタイムラインの作成) ②地震対策(練馬区の被害想定を学ぶ) ③地震対策(家庭の状況に応じた防災対策を学ぶ)	各コース2期実施 ○平日(2H×3日制) ○週末(6H×1日制) ○夜間(2H×3日制)	各コース40名程度	○
区民防災組織向け講座	前期は避難拠点運営連絡会向け、後期は防災会向けに実施する 【ポイント】 ①組織における災害対応のタイムラインを学ぶ ②実動訓練(発災対応型訓練等) ③組織間の交流を図る	各コース2期実施 ○平日(6H×1日制) ○週末(6H×1日制)	各コース40名程度	—
女性防災リーダー育成講座	毎年テーマを決めて実施する。(R3年度は『安心』)女性の視点を取り入れた防災対策について自助から共助まで幅広く学ぶ 【ポイント】 ①災害支援等を行った民間企業から当時の話しを伺う ②女性の視点を活かした避難所運営について学ぶ	2H×3日制	45名程度	—
小学生向け講座	自らの命を守るための防災知識やスキルを身につけ、学んだことを家族や友人に共有する 【ポイント】 ①体験を重視(起震車、ブロックの重さを理解) ②防災工作を通じて家族・友人と学びを共有	2H×2日制×4コース	各コース50名程度	—
中学生向け講座	災害時に自分たちにできることを考え、地域への関心を高める 【ポイント】 ①避難拠点について学ぶ ②自分にできることを考える	3H×1日制	40名程度	—
合同フォローアップ	区民防災組織で活動されている方とカレッジ受講者が交流を図りつつ、協働で訓練等に取り組む。 【ポイント】 ①区民防災組織とカレッジ受講者との交流を図る ②災害時の初動対応訓練を実施	2H×1日制	80名程度 (区民防災組織) (つながるカレッジ) (女性防災リーダー)	—
事業所向け防災講習会	保育施設、福祉施設、学校の3施設の職員を対象とした防災講習会 【ポイント】 ①災害時のタイムラインを学ぶ ②BCPの策定方法を学ぶ(保育・福祉) ③防災教育を行うための知識・スキルも身につける(学校)	2H×1日制×3コース	保育事業所向け 80名 福祉事業所向け 80名 学校教員向け 40名	—
中高層住宅向け防災講習会	災害時における中高層住宅特有の被害を学ぶ 【ポイント】 ①在宅避難の考え方を学ぶ ②専有部と共有部の防災対策を学ぶ	2H×1日制×2コース	各コース40名程度	○
乳幼児の保護者向け防災講習会	乳幼児を育てているご家庭ならではの防災対策を学ぶ 【ポイント】 ①発災時の安全確保 ②心のケアを学ぶ ③備蓄と持出品を確認	1.5H×1日制×3コース	各コース40名程度	○
つながるカレッジねりま共助コース	地域の防災活動へ参加するため、区民防災組織等の活動を学ぶ 【ポイント】 ①区民防災組織の活動を学ぶ ②D級ポンプや避難拠点の資器材操作訓練 ③ボランティア活動の知識を学ぶ	2H程度×8日制	30名程度	—
一般公開防災講習会	地震や水災害に対する備えを短時間で学ぶ 【ポイント】 ①水災害への備え(マイタイムラインの作成) ②地震への備え(事前の対策と被災後の生活)	1.5H×1日制×2コース	各コース50名	○